

# 滋賀県の施策評価を 担当してみて



滋賀県総務部行政経営改革室

松田 千春

## 滋賀県における施策評価等の経過

- H.10.4 施策評価試行
- H.11.4 施策評価本格導入
- H.12.4 しがベンチマーク第一版公表  
全評価表を県HPで公表 外部委員による評価を導入
- H.13.4 基本施策主眼の評価へ移行
- H.14.9 行政経営改革ディレクター設置(～H.16.9)  
責任者職氏名を記載、「環境への配慮」を評価項目に追加
- H.15.4 組織目標制度の導入(部局・課室・グループ毎に設定)  
施策評価データベースを導入
- H.16.2 滋賀県中期計画による体系に組み替え
- H.16.9 施策評価システムに関する提言
- H.17.3 新しい施策評価システム試行
- H.18.9 施策・事業の仕分けを全事業対象に実施

## まずは自己紹介

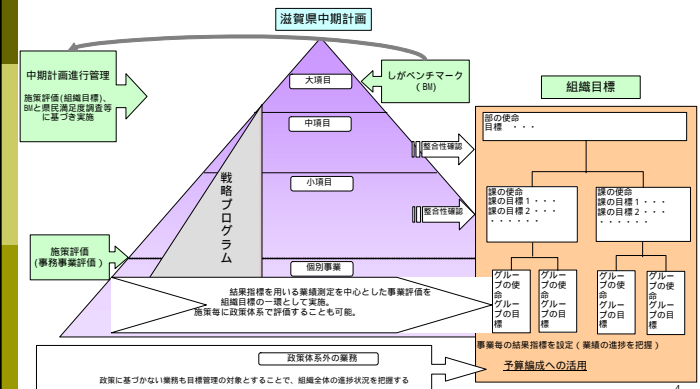
### □ 担当するまでの施策評価に対する印象

- ・ 面倒なだけ
- ・ 何の役にたつのか
- ・ えらそうに指示されてイヤ

### □ 担当してから

- ・ 何で理解しようとしてないのか
- ・ お願いしてやってもらうものではないはず
- ・ それにしても...本当に必要なものなのか

## 滋賀県に導入している行政運営ツール



## 滋賀県の施策評価の概要 (平成11年～16年)

- 目的 県民に対する説明責任  
県政の透明性の向上
- 対象 県中期計画の体系に基づく  
146の基本施策(中期計画の小項目に該当)と  
それを構成する1260の個別事業
- 方法 各部署における自己評価  
外部委員による外部評価(3年間で全施策対象)
- 公表 各部署より常任委員会に結果報告  
  
全評価表を各県政情報コーナーと県HPで公表

5

## (旧)基本施策評価表(1面)

基本施策評価表の見方

基本施策名 (0000)

年度 (11年度) (12年度) (13年度) (14年度) (15年度) (16年度) (17年度) (18年度) (19年度)

この基本施策によって、政策目的をどのように達成しようとしているのかを示しています。

この基本施策を推進することによってもたらされる成果を5つ以内の指標によって表しています。

1、5年度末時点での目標達成率を%で示しています。

目標達成における目標達成の見込みA～Dにより評価しています。

## 外部委員による評価の視点

外部委員(16名)

学識経験者(行政学、財政学等)、公認会計士、税理士、  
企業経営者、福祉関係者、NPO役員、学生、公募委員

- 県民の視点で評価表の表現がわかりやすいか  
(専門用語の言い換えや自由記述欄での説明)
- 客観的に見て妥当な評価結果になっているか
- 施策や事業の成果を示す適正な指標を採っているか  
(基本施策評価表に記載)
- 評価システムそのものにどうか

6

## (旧)基本施策評価表(2面)

15年度費用対効果性 (達成率%)

効果性 (高) (中) (低)

効率性 (高) (中) (低)

満足 (満足) (不満足)

評価 (満足) (不満足)

この基本施策を推進する上で、最も重要な成果を5つ以内の指標によって表しています。

この基本施策を推進する上で、最も重要な成果を5つ以内の指標によって表しています。

この基本施策を推進する上で、最も重要な成果を5つ以内の指標によって表しています。

この基本施策を推進する上で、最も重要な成果を5つ以内の指標によって表しています。



## 提言による改善提案

「滋賀県の施策評価システムに関する提言」  
行政経営改革・施策評価委員会（平成16年9月）

内部管理に目的を限定  
評価表の簡素化  
予算編成等への評価結果の活用  
部局横断の政策連携と優先順位付け  
二次評価の導入  
職員の意識改革

13

## 「使える評価」への改善点

(新しい施策評価システムの特徴)

1. 相対評価の導入
2. 二次評価の実施
3. 今後の方向性・改善計画の作成
4. 評価の活用と有機的連携
5. 評価結果のわかりやすい公表

15

## 新しい施策評価システムの目的

(平成17年度試行)

評価システムの簡素化

PDCA型行政経営を実現する  
評価の活用

14

### 1. 相対評価の導入

- 構成する基本施策毎に個別事業の貢献順位
- 予算編成前に優先順位を再度設定

### 2. 二次評価の実施

- 自己評価(一次評価)の客観性と精度の向上
- 庁内第三者による相互チェック
- 部局横断、政策的視点の醸成

16

### 3. 今後の方向性・改善計画

- 成果について再度確認し、予算編成までに今後の方向性を議論
- 予算編成前に再度、優先順位を決定

### 4. 評価の活用と有機的連携

- 予算編成や中期計画等他のツールとの連携

### (記入例)

基本施策評価表

施策名: 安定した農業生産の確保 | 施策コード: 2223 | 評価責任者: 部長 佐藤

当該の年の位置づけ: 基本施策の進捗・基本施策のねらい(貢献しようとする分野)

政策分野: たくまひし経済圏づくり

政策目的: 産質の特性を生かした・・・の振興

策が達成を促進する種別となる施策等: ...基本法 ...大綱等

達成する個別事業の分類(体系図):

- 支援事業
  - 品質管理システム緊急推進事業
  - 産地競争力の強化対策事業
  - 定着化総合推進対策事業
- 総合支援事業
  - 技術移転促進事業
  - 緊急対策事業
  - 整備事業
  - 価格安定対策事業
  - 団体育成事業
  - 育成支援事業
  - 管理事業
  - 調査事業

成果に関する情報1: 産地競争力の強化対策事業

達成率: 4

15年度目標: 96,800

16年度実績: 97,725

17年度目標: 96,500

17年度実績: 96,500

達成率: 100.0%

成果に関する情報2: 定着化総合推進対策事業

達成率: 4

15年度目標: 9.5%

16年度実績: 9.4%

17年度目標: 9.4%

17年度実績: 10.0%

成果に関する情報3: 緊急対策事業

達成率: 3

15年度目標: 4,000

16年度実績: 3,660

17年度目標: 4,000

17年度実績: 4,000

達成率: 100.0%

達成率に関するベンチマーク: 50以上

伸びは概ね順調であり、目標の達成は見込める。

### 5. 評価結果のわかりやすい公表

全評価表公表  
(全てをさらけ出すことが説明責任)

評価の成果を要約して公表  
(県民からみてわかりやすいのはどんな形か、知りたいのはどんな情報は何なのか)

達成する個別事業の評価

区分	個別事業名(所管課名)	個別事業の効果を示す指標	H16 目標値	H16 実績値	H16事業費(平均)5年一般財源	H16事業費(平均)5年一般財源
1	・・・政策推進事業	作付確定面積実施率(%)	100	96.3	315,291	314,900
2	産地競争力の強化対策事業	の・・・生産費・作付面積5ha以上(円) (高規格農林水産部計・産地競争力強化センター)	96,800	97,725	372,609	291,401
3	定着化総合推進対策事業	・・・のタンク保有率(%) (成分分析機平均)	9.5	9.4	46,250	19,213
H18計	・・・緊急対策事業	生産量の拡大			22,930	13,655
4	整備事業	・・・出荷量(t) (・・・の合計計量、 分岐農林水産部計・情報センター(公表値))	33,000	29,776	14,000	14,000
5	・・・調査事業	・・・の特化率(%) (・・・の調査結果)	60	63.7	11,935	
H18計	・・・緊急対策事業	の品質目標項目の設定 SJA(H18)			11,935	46,920
6	推進事業	・・・比率(%) (農産物検査法に基づく・・・の検査結果)	85	85.8	35,880	45,493
7	・・・団体育成事業	の出荷量(t) (の農産物検査法に基づく・・・の検査結果)	2,000	1,430	2,060	2,060
					2,010	283
					531,361	629,117
					531,361	629,117

目標達成を阻害する要因: ...事業の周知が十分でなかったため、実施率が伸びなかったことなどにより目標を達成することができなかった。

二次評価: ...事業の周知が十分でなかったため、実施率が伸びなかったことなどにより目標を達成することができなかった。

達成率に関するベンチマーク: 50以上

伸びは概ね順調であり、目標の達成は見込める。

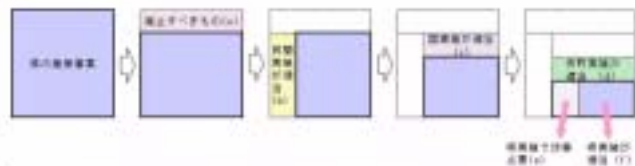
## 施策・事業の仕分け(平成18年度)

- 市町村合併の進展
- 三位一体の改革をはじめとする社会経済情勢の変化
- 引き続き厳しい財源不足が見込まれる状況

的確に対応

「滋賀県施策・事業仕分け会議」

県の果たすべき役割を改めて検証しながら、県として実施すべき施策・事業のあり方等を外部の視点で実施



## これからの行政評価は(独断予想)

- 形にとらわれず
- 何のためにするのか(目的・対象のしぼりこみ)
- 全ては評価で解決しない
- 「どうせやる(やらされる)なら使ってやれ」という気になってもらおう
- やりがいのあるしくみに
- 他のツールとの関係

23

## 担当してみても(はまりやすい罫)

- 行政評価は魔法の箱ではない
- 理想から入るか、現状から出発するか
- 「精緻な」システムの迷路
- 二兎を追うと...
- 評価の逆流(予算とのつじつま合わせ)
- 外部評価の位置づけ
- 宿命のタイムラグ(2年の差)
- 2つの体系の間で

22

## 最後に



24